

コシアキトンボ

ややがっしりとした中ぐらいのトンボです。全身真っ黒ですが、腹部に白い部分があり、この部分が明るいので「腰明きトンボ」と呼ばれています。

主に樹木に囲まれた泥深い池や沼、緩い流れなどに生息しています。

6月から9月くらいまで見られます。

産卵はメスが単独で、水面に出ている杭や浮遊物などに間欠的に腹端を打ち付け、卵を付着させます。

富士市での現状

主に平地から低山地の池沼で見られます。

未熟期の成虫は、溪流沿いなどで見かけることもあります。

旧富士川町域では、はたご池に生息しています。



コシアキトンボを確認したメッシュ

